

総合計画(中期)策定に向け、平成30年3月に18歳以上の市民から無作為に抽選された2,000人にアンケート調査を行い、630人の方から回答をいただきました。その際いただいた意見や質問、提言などについて、毎月テーマごとに、市としての方針や考え方などをお知らせします。



今月のテーマ

市立大学について

いただいた意見、
質問、提言など

◆市立大学に関する問い合わせ
市立大学事務局総務課
☎01654②4194

「市立大学は地方の受験生が多く、地元の学生が少ない。将来の名寄市人口に不安しかありません。受験生の地元枠を増やしてください」
「市立大学保育学科をなぜ4年にしたのか。レベルを高くするためなのか」
「大学の国際化、海外留学生等を早急に進めるべきではないか」 など

回答

市立大学は大学の開設時から、上川北部圏域の意欲的な学生の入学機会を確保するため、推薦入試に地域指定枠制度を取り入れており、4学科の推薦入試募集定員75人のおよそ4分の1にあたる18人がこの地域指定枠になっています。加えて、本学卒業生をそのまま名寄市に定着してもらうため、地元定着推進事業に取り組んでいます。

短期大学部児童学科を継承・発展させて設置した社会保育学科は4年制にすることによって、法や制度、家族や社会連携など社会全体と関連する学びや、障がい児支援や就学児保育、3学科(栄養・看護・社会福祉)と連携した食育や病児・病後児保育など、多様な子どもの理解と支援に関する学びをより一層深めることを目指しています。さらには、現代に起こりうるさまざまな諸課題に対応する質の高い教育・研究を行うことを可能とし、保健福祉学部さらなる総合的発展を期待することができます。

国際交流の推進については、大学内に国際交流センターを設置し、全学的な推進体制を構築しております。具体的には、韓国の東国大学、東義大学、ソウル市立大学、中国の泰山医学院、カナダのトレント大学の5大学と交流協定を締結するとともに、短期語学研修として韓国の大学と学生の相互交流を行っております。平成31年度には海外で語学研修などを行う学生の支援制度を新設する予定であり、今後も国際的視野を持った有能な人材の育成に努めていきます。

今後とも、市民の皆さまからいただいたご意見を参考にしながら、大学運営の指針である「名寄市立大学の将来構想(ビジョン2026)」の着実な推進により、大学運営全般において、継続して改善向上に取り組み、ケアの未来をひらく優秀な人材を養成してまいります。

参考

地域別受験者数・入学者数 (単位：人)

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数
北海道内	382	103	422	128	539	145	385	130
うち上川管内	129 (27)	33 (10)	132 (50)	35 (15)	132 (26)	40 (14)	97 (25)	31 (9)
北海道外	169	49	172	68	231	50	202	65

※ () 内は上川管内のうち上川北部圏域の受験者数・入学者数